

プロジェクトメモリ入門

2026-08-21

回答品質だけでなく、参照してよい会話の境界を
業務ごとに決める。

● 事実 回答は会話・ファイル・メモリに左右される

△ 注意 無関係な文脈は誤答の原因になる

◆ 推論 業務境界とAIの参照境界をそろえる

既存プロジェクトでも切替可能

8月14日、対象の非共有プロジェクトでメモリ設定を変更可能になった。

● 事実 デフォルトと専用メモリを切替

● 事実 既存プロジェクトも設定変更可能

△ 注意 共有プロジェクトは専用のまま

プロジェクト内だけを参照

専用メモリは、同じプロジェクトの会話を使い、外部との相互参照を止める。



4つの管理を分けて考える

メモリ・共有権限・モデル改善・保存期間は別々に確認する。

● 事実 メモリはAIの参照範囲を制御

△ 注意 共有メンバーは内容を閲覧できる

△ 注意 学習利用と保存期間は別設定

案件ごとに境界を決める

プロジェクト開始時に、参照範囲・共有者・投入情報・接続アプリを確認する。

◆ 推論 顧客・案件・部門ごとに分ける

◆ 推論 既存設定と共有者を棚卸し

◆ 推論 重要回答は出典を明示する